

## 皮肉な企み・・・思わぬ作品が・・・

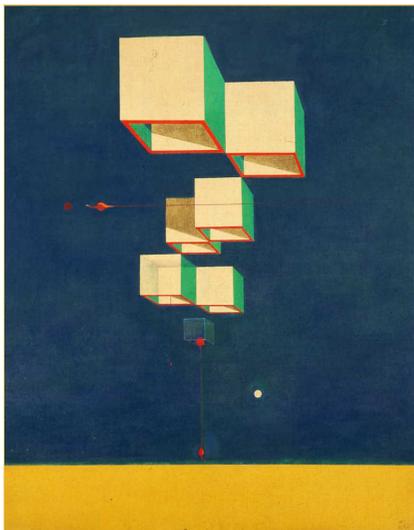
本質とは遠い下世話な話に頭を痛めている。溜まってしまった作品のヴォリュームだ。

美術館では30号ほどにしか見えない100号のキャンバスも、個人の空間では大きすぎてただの邪魔もの、それが溜まってしまった暴力にはつい考え込んでしまう。

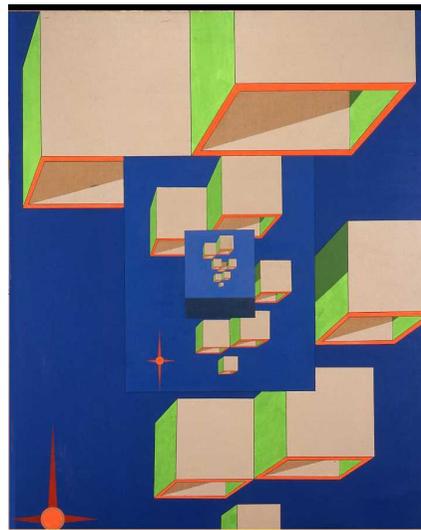
もう10年以上もいろいろ案を練ったが、その企みの一つに切り分け絵画なるものがある。「大きすぎれば切れば良い」という妙案が気に入って、昨年からは実験を始めた。

1966年の作に「夜間飛行」というF100号がある。これを翌67年に「ズームアップ夜間飛行」として展開させた作が実験第一号となった。その中央部を昨年切り取りF30に張り直して今年少し手を加えたが、なかなかの出来映えと気に入った。

分離の記念写真でも撮っておこうと、切り取られた絵画へ切り取った30号をはめ込んで見たのだが・・・。



『夜間飛行』1966 F100号



ズームアップ「夜間飛行」1967 F100号



中央部を切り抜きF30号に・・・  
アクリル絵の具で加筆 2013



再会 2013ー2014 1

これがなんと！！ こんな不思議な作品に・・・ どうにも気に入った。このままの形で残したくなり再会の姿を固定した。

皮肉だが… 大きさはやはりF100！！ しかも厚さと重さが増しただけ。(笑) ならば始めから小さいサイズで…これも実験の価値はある。